



経営理念

人とのふれあいを大切に
地域の繁栄に貢献する

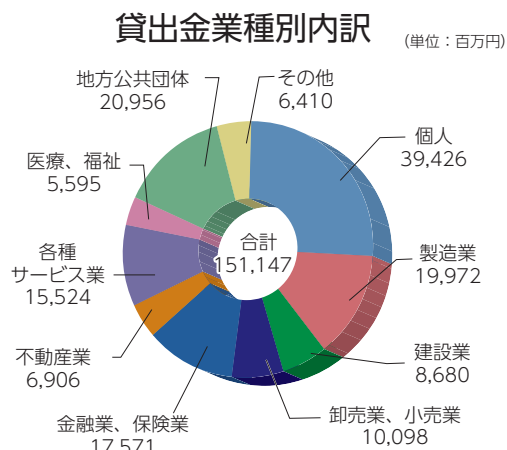
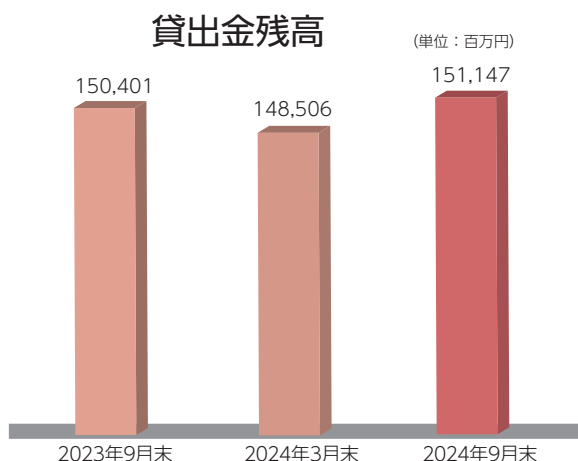
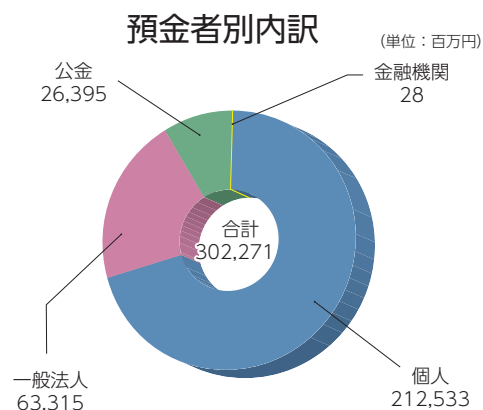
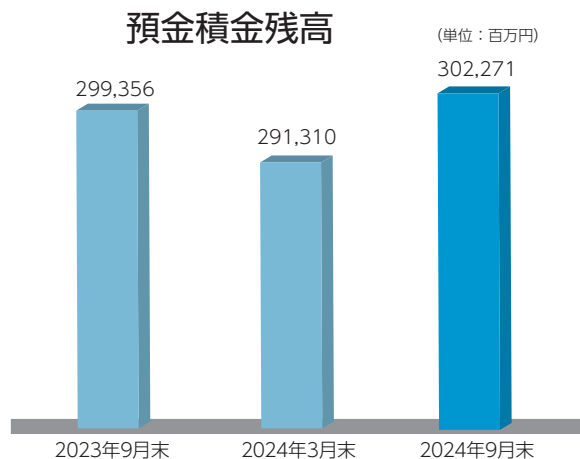
経営方針

1. 顧客とのふれあいを通じ、地元の金融機関として特化浸透を図る。
2. 知性と感性をみがいて、常に自己革新し、行動力の発揮により、多様化する顧客ニーズに対応する。
3. コミュニケーションとチームワークの強化により、打てば響く職場風土を醸成する。
4. 組織に弾力性と柔軟性をもたせ、環境の変化に対応する。
5. 健全経営により、適正な利益を確保し、会員・地域への還元と職員の裕かな生活環境の確立を目指す。

2024年度上半期 業種ハイライト

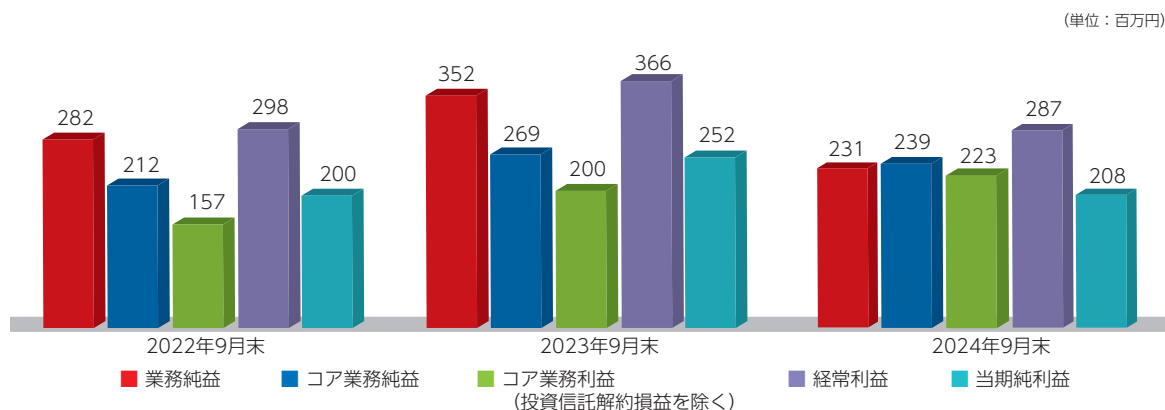
預金積金・貸出金の状況

預金積金残高は、流動性預金が増加したことにより2024年3月末比で109億61百万円増加し、3,022億71百万円となりました。貸出金残高は、2024年3月末比で26億41百万円増加し、1,511億47百万円となりました。内訳は、個人向けが住宅資金を中心に9億44百万円、事業者向けが2億64百万円、地方公共団体が14億33百万円それぞれ増加しました。



損益等の状況

金融機関本来の事業活動のみの利益を示す「コア業務純益」は、預金利回りの上昇により預金利息が増加した一方、貸出金利回りは低下し貸出金利息が減少したことにより、2023年9月末比で29百万円減少し2億39百万円となりました。また、国債等債券売却益の減少等もあり、「経常利益」は2023年9月末比で79百万円減少し2億87百万円、「当期純利益」も44百万円減少し2億8百万円となりました。

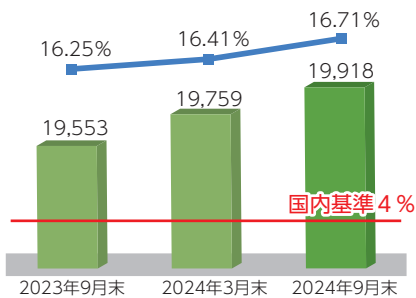


自己資本比率の状況

自己資本比率は金融機関の健全性を示す指標で、比率が高いほど経営がより健全であることを示しております。2024年9月末の自己資本比率は16.71%であり、国内基準の4%を大幅に上回っております。

自己資本比率と自己資本額

(単位：百万円、%)



		(単位：百万円)	
項	目	2024年3月末	2024年9月末
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	19,927	20,092
コア資本に係る調整項目の額	(ロ)	168	173
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ)	19,759	19,918
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	120,385	119,192
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))		16.41%	16.71%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。
なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しています。

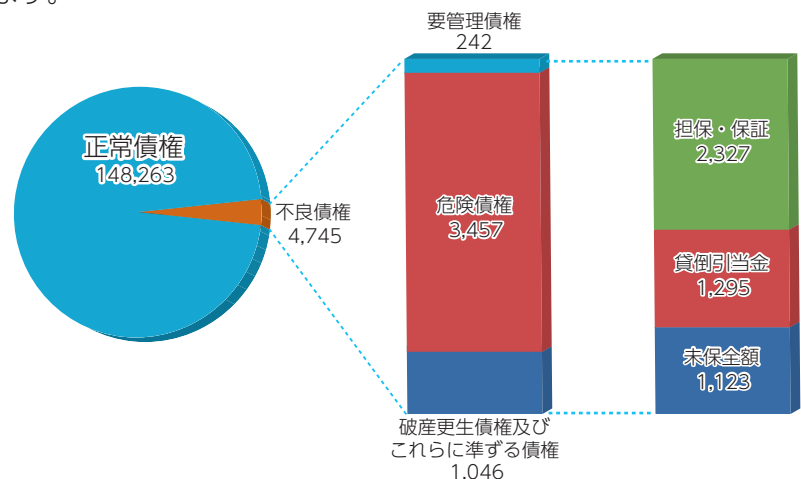
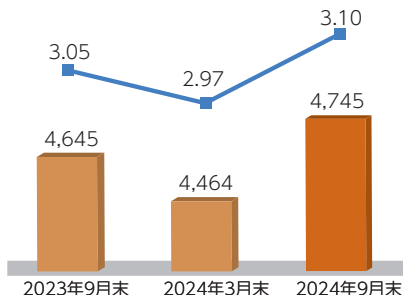
不良債権(信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権)の状況

不良債権とは利息や元金が返済されなくなる可能性の高い貸出金等のことをいいます。

金融再生法に基づく不良債権額は2024年3月末比で2億81百万円増加し47億45百万円で、不良債権比率も0.13ポイント上昇し3.10%となりました。この不良債権額のうち、担保や保証、貸倒引当金により36億22百万円は保全されており、保全されていない11億23百万円は特別積立金182億円で十分にカバーされており、不良債権への対応には万全を期しております。

不良債権残高・不良債権比率

(単位：百万円、%)



有価証券の状況

安全性を重視した運用を心掛けています。金利上昇下におけるポートフォリオ改善のため債券の入替えを行い、高クーポンの債券の購入を行い、利回り向上を目指しております。

(単位：百万円)

		2024年3月末			2024年9月末		
区	分	簿 価	時 価	差 額	簿 価	時 価	差 額
その他 有価証券	株 式	708	936	227	834	978	144
	債 券	74,023	72,018	△ 2,004	73,656	71,125	△ 2,531
	その他	30,136	28,501	△ 1,634	30,585	28,659	△ 1,925
	小 計	104,868	101,456	△ 3,411	105,076	100,764	△ 4,312
区	分	簿 価	時 価	差 額	簿 価	時 価	差 額
満期保有 目的 有価証券	債 券	751	751	0	1,242	1,237	△ 5
	その他	600	581	△ 18	600	549	△ 50
	小 計	1,351	1,332	△ 18	1,842	1,787	△ 55
合	計	106,219	102,789	△ 3,430	106,919	102,551	△ 4,368

(注) 1. 時価のあるものについては市場価格等に基づき、時価のないものについては帳簿価格等によって記載しております。
2. 「差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しております。
3. 「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の証券です。

2024年度上半期トピックス

■交通安全「黄色いハンカチ」の贈呈 4月

地域の新入学児童全員に「交通安全黄色いハンカチ(交通傷害保険付)」を贈呈しました。

■献血活動 6月21日

信用金庫の日になみ、当金庫役職員16名が献血活動に参加しました。



■信金中央金庫の紺綬褒章授与伝達式へ参加いたしました

6月27日



令和6年6月27日に上田市役所内にて行われました「信金中央金庫の紺綬褒章授与伝達式」へ出席いたしました。

〈信金中央金庫の紺綬褒章授与伝達式の実施の経緯〉

信金中央金庫は創立70周年を記念し、企業版ふるさと納税を活用した地方創生事業推進スキーム「SCBふるさと応援団」を創設し、地域の課題解決、および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を地元信用金庫とともに応援する活動を実施しております。上田市に対しましては、上田ー練馬間を往来する高速バスを貨客混載方式で活用する中で、水分子活性化技術により食品の鮮度を高品質に保ちつつ、タイムリーな低コスト輸送により付加価値を高めて野菜等の販売を行う等、新たな物流システムを構築し、上田市と友好都市で東京都練馬区にアンテナショップ・ポップアップストア等を開設(既に令和4年10月30日にオープン)するという取組みである「地方と都市をつなぐ地域創生プラットフォーム創造事業」が本推進スキームの趣旨に沿うものであることから、当金庫からの推薦を受けて、令和4年1月25日に本事業に対して1,000万円の寄付が行われております。今回、この寄付実績に対して、上田市からの推薦があり、信金中央金庫が「紺綬褒章」を受賞いたしました。

■一般財団法人民間都市開発推進機構と「小諸まちづくりファンド」を設立しました

8月9日(写真は8月26日の様子)

上田信用金庫は、令和6年8月9日に「一般財団法人民間都市開発推進機構」(略称:民都機構)と共同で出資し「小諸まちづくりファンド」を設立いたしました。設立に伴い、令和6年8月26日に、小諸市役所(第4会議室)にて、設立記念セレモニーを開催いたしました。民都機構は「民間都市開発の推進に関する特別措置法」(昭和62年法律第62号)に基づく、民間の都市開発を推進するための主体として、国土交通大臣の指定を受けた法人です。上田信用金庫と小諸市は、令和3年3月9日に「地方創生に向けた連携に関する協定」を締結し、地域の産業振興、地方創生に連携して取り組んでおります。また、民都機構は長野県と相互に連携してまちづくりを支援する包括的な連携協定を締結しており、本ファンドは第1号の連携案件となります。「小諸まちづくりファンド」設立を機に、小諸市、小諸商工会議所、長野県、民都機構、上田信用金庫が連携を更に強化し、小諸市のまちづくりを推進してまいります。



当金庫の概要 (2024年9月30日現在)

- 本店所在地 : 上田市材木町一丁目17番12号
- 創 立 : 1922年(大正11年)12月2日
- 会 員 数 : 20,122名
- 出 資 金 : 7億17百万円
- 預 金 積 金 : 3,022億71百万円
- 貸 出 金 : 1,511億47百万円
- 常勤役員数 : 224名
- 店 舗 数 : 23店舗

 **上田信用金庫**

<https://www.shinkin.co.jp/ueda/>

編集・発行 上田信用金庫 総合企画部
〒386-0014
長野県上田市材木町1丁目17番12号
TEL.0268-22-6260

